

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和2年 6月 5日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県高浜市論地町4丁目2-30	
氏 名 マルスギ株式会社	
代表取締役 杉浦英行	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0566-52-0211	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	マルスギ株式会社 高浜工場
事業場の所在地	愛知県高浜市論地町4丁目2-30
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	21：窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	平成31年度 売上高：657百万円
③ 従業員数	48名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	粘土瓦の生産 粘土→プレス→乾燥→施釉→焼成→検査・梱包 ① ② ③ ①汚泥→プレス用粘土に投入し再利用 ②, ③がれき類→再生処理業者に委託し再生砕石として再資源化 ③陶器くず→再生処理業者で粉砕しシャモットとして粘土原料として再利用 ③廃プラスチック類→再生処理業者に委託してRPF燃料として再資源化

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

総務部（統括責任部署）



総務管理課(実務管理部署)



高浜第4工場



営業物流係

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃プラスチック類、がれき類、木くずを出来るだけ分別し再利用できるようにする。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（平成31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	4 t	—
	（これまでに実施した取組） ・ 汚泥は生産中の粘土へそのまま利用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	4 t	—
	（今後実施する予定の取組） 同上		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（成31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	—
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	—
	（今後実施する予定の取組）		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（平成31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

